

News Release

2009年12月30日

報道関係各位

光都東京・LIGHTOPIA 実行委員会事務局

こうととうきょう ライトピア
「光都東京・LIGHTOPIA2009」 12月29日午後10時閉幕。

期間中のご来場者数は、2, 092, 000人！

光都東京実行委員会(会長:財団法人 東京観光財団 副理事長 船山龍二)主催の「光都東京・LIGHTOPIA2009」は、昨日12月29日(火)午後10時をもって閉幕いたしました。12月21日(月)より開催された「光都東京・LIGHTOPIA 2009」は、照明デザイナー 石井幹子(いしい もとこ)氏をエグゼクティブ・アドバイザーにむかえ、『地球・環境・平和』をコンセプトに東京都千代田区丸の内、大手町、有楽町地区にて、人と地球にやさしい多様な光の世界を展開いたしました。

期間中、天候にも恵まれ、おかげさまで200万人以上のご来場者をお迎えし、無事終了することができました。

○光都東京・LIGHTOPIA 2009 開催期間
2009年12月21日(月)午後5時 ～ 2009年12月29日(火)午後10時 9日間

○期間中のご来場者数
2, 092, 000人(総数)
※12月23日(水)は、321, 000人で期間中最高のご来場者を記録

実施概要

江戸から東京へ。常に日本の中心地として進化を遂げてきた、東京駅周辺と丸の内地区。
今年も、光の祭典「光都東京・LIGHTOPIA 2009」がさらに輝きを増して、この地区に光を灯しました。
「地球・環境・平和」というコンセプトのもと、人と地球にやさしい多様な光の世界を展開し、光のゆらめき、光のやすらぎ、光のときめきで、人と都市を包み込みました。

◆アンビエント・キャンドルパーク

皇居外苑会場（和田倉噴水公園）
12月21日（月）～26日（土） 17:00～21:00

明り絵ファンタジア

<地球・環境・平和>をテーマに、著名人及び千代田区の小学生が絵やメッセージを描いた約600個の明り絵を、公園中央に並べました。公園のシンボルである大型噴水や落水盤は既存の白色投光で演出し、透明感のある光と、対照的なキャンドルの暖かく優しい光で、幻想的なシーンを創り出しました。また、既存の照明を除く光源は、全てLEDを使用し、省エネルギー化を図りました。

公園内景観照明

噴水公園を囲むケヤキ並木を対象に、清らかな白い光で霧氷のきらめく「光の樹氷」を表現しました。「光の樹氷」を背景に、キャンドルが灯る明り絵と既存の白色光でライトアップされた噴水、落水盤が重なり合って、幻想的なシーンを創り出しました。また、省エネルギー化を図るため、既存の照明を除く光源は全てLEDを使用しました。



◆光のアート・インスタレーション 光雲

皇居外苑会場（日比谷濠、馬場先濠、和田倉濠）
12月21日（月）～29日（火） 17:00～21:00

江戸城の名残を留める、日比谷濠から和田倉濠まで続く長大な石垣を「空」に見立て、その空<石垣>に無限に広がる清らかな白い光の雲「光雲（ひかりぐも）」を創りだしました。
また、光源は、全てLEDを使用し、省エネルギー化を図りました。



◆フラワーファンタジア

丸の内仲通り会場
12月21日（月）～29日（火） 17:00～22:00

花と光のコミッションワーク「フラワーファンタジア」。人と人が出会い、新たな息吹が生まれる街に、<地球・環境・平和>の願いをこめた10種類の花と光で幻想的な川の流れを描きました。一方で光の花は姿を変えながら、天空へとのび、やわらかな光で会場をあたたく包みました。
今年も生花を配し、省電力型LEDや光ファイバーを使用して、自然と共生する環境型イルミネーションイベントを目指しました。

